

はじめに

インターネットをはじめとした情報通信技術の発展はめざましく、我々の家庭や職場においても、生活スタイルや働き方に大きな影響を与えています。

地域において情報化を推進するにあたっては、技術的な動向を踏まえるとともに、地域の現状や住民ニーズの把握に努めながら、住民の誰もが豊かで安心して暮らせる社会を実現していくことが重要となっています。

国では、e-Japan戦略 を決定し、世界でも有数のIT国家をめざして官民挙げての取り組みを進めています。また、京都府においても、「京都デジタル疎水ネットワーク」の整備など地域の情報化の推進に積極的に取り組んでいます。

こうした状況を踏まえ、本町においても、21世紀の住民生活を豊かで住みやすいものとするために、新しい情報化技術や考え方を十分に取り入れた、新たな情報化基本計画の策定が必要となってきました。

今回、計画の策定にあたっては、専門的な立場の方だけでなく、住民の皆様からの意見を計画に反映させるために「精華町情報化基本計画検討懇話会」を設置し、さまざまな視点から本町の情報化のあり方について議論を重ねてきました。また、多くの方々のご協力を得ながら、アンケート調査や情報化基本計画(案)への意見募集(パブリック・コメント)などを行い、計画づくりに取り組んできました。

このたび、『人とひと 人とまちを 情報の輪で支えあう 豊かなまち せいか』をめざすべき情報都市像として掲げ、「精華町情報化基本計画」を策定いたしました。

この計画が、精華町の新時代を拓くきっかけとなることを切望するとともに、その推進に向けては、住民と行政が対話を重ねながら協働して取り組んでいくことを期待します。

最後になりましたが、貴重なご意見ご提案を賜りました住民の皆様をはじめ、関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

平成17年9月

精華町長 木村 要